

【火曜2限 フィールドワークⅠ グループ6】

静岡県立大学 国際関係学部  
2213042 田中 美希 2313219 山口 力也  
2313142 桑原 実希 2313058 ピラカンバ ニカ  
2313143 小井 陸冬



# 静岡県立大学学生 SDGsインタビュー 2023

【インタビュー実施日】  
令和5年12月28日(木)15:30~17:00  
【実施場所】Zoom  
【ご担当者】広域事業部 網谷様



お忙しい中ご協力  
いただきありがとうございました！  
12/28

## 01 調査方法

ズームを通じて企業の民族誌的なインタビューさせていただきました。担当の網谷照世さんと網谷さんの上席の方から、濱村屋さんが取り組んでいるSDGs活動や、これからの目標についていろいろ話を聞かせていただきました。実施期間は令和5年12月28日、15:30~17:00。濱村屋さんから事前に録音の許可を取り、様々な質問をさせていただきました。チームのメンバー、交代交代で質問をしていく形でインタビューを行いました。



## インタビュー先企業様 株式会社濱村屋



## 02 濱村屋について



濱村屋は、生活必需品としての食品品の扱いを広く増やし、総合食品卸業者として静岡県内全域にわたり食品業界に携わっています。直接一般顧客に食品を届けるB to Cではなく、企業間のB to Bで食品を扱う会社として、多様な業態の顧客先様を抱えています。取扱商品も卸先の需要に沿った様々な食品を扱っています。

自社の広いネットワークを活かした商品開発事業が、オリジナル商品「シズワン」の開発です。静岡県各地の特産品を使用したシズワンの定期的な開発をし、顧客先様に繋ぐことで、老若男女問わず幅広い世代に静岡県内産食材について知ってもらい、地産地消を進めるプロジェクトに尽力しています。



## 05 インタビューを行った感想

今回のインタビューを行い、濱村屋さんがSDGsの目標の1.11.14.15に取り組むことを通して環境へ配慮するだけでなく地域社会へと大きな貢献していることが分かりました。「シズワン」によって地域の食材を使用した商品開発を行い地産地消を目指し、その商品を学校給食等へ提供し若い世代に地域の食について知ってもらい、また県外の人にも発信するなどして幅広い世代の多くの人に静岡の食について知ってもらうという地域の活性化へと繋がるような活動していることが分かりました。濱村屋様お忙しい中インタビューを受けてくださりありがとうございました。



## 04 シズワンの例

### ●さばコロ



さばコロという商品を開発し、静岡の駅伝で販売をしました。このさばコロは静岡県伊東市でとれたサバを使用したコロッケです。気候変動によって漁獲量が減っているという課題に着目し、同市と協力して、商品を作りました。実際に現地に行き、現状を知った上で、課題を解決するための商品を開発しています。

また、1のゴール「貧困をなくそう」を達成するために子供食堂へも食品を提供しています。賞味期限が間近であるにも関わらず販売が見込めない商品や、型崩れなどが原因で適正価格で販売はできないものの、美味しく食べられる商品を子ども食堂に提供をしています。



## 03 事業展開の理念、SDGsの取り組みへ

### ●地域の繋がりに

濱村屋さんは、地域との繋がりをとても大切にしている会社であることが分かりました。例えば、静岡県に一つしかないオリジナル商品である、「シズワン」と名付けて販売されている商品を通して、県内外に静岡の魅力を発信しています。「シズワン」の商品名には、地域の名前が含まれているので、それぞれの地域のPRにもなっています。

### ●世代間の繋がりに

地域との繋がりでだけでなく、世代間の繋がりがや交流も大切にされています。「シズワン」の商品を給食として提供することにより、子供たちにも地域の商品やその地域について知ってもらうことができます。また、学校機関と協力して静岡県内産食材を使用した調理実習などを行い、食育をサポートする取り組みも行っています。



### ●SDGsの取り組みへ

濱村屋さんは、SDGsの17の目標のうち以下の4つの目標に取り組むことを宣言されています。

- 1、貧困をなくそう
- 11、住み続けられるまちづくりを
- 14、海の豊かさを守ろう
- 15、陸の豊かさを守ろう



地域との繋がりがや、世代間の繋がりによる活動のすべてがSDGsのこれらの目標を達成することに繋がっています。

